

まちのできごと

「であいの里蜷川」で モーニング始めました

閉校になった学校校舎を利用して町内外からの宿泊や自然体験の受け入れを行っている、であいの里蜷川（蜷川地区）が、2月1日から蜷川モーニングを開始しました。

地域に増えているひとり暮らしの高齢者やみんなが気軽に集まり交流できる場所として利用方法を検討し、毎月2回第1・2月曜日にモーニングの実施を決定しました。

2月中、2回のモーニングを終えたメンバーからは「開店から地元だけでなく地域外からも大勢の方が来てくださっています。初めてのことで、お客さまに迷惑をかけることばかりですが、みんな反省会をしながら次に生かしています。お客さんに満足していただいた時の喜びもひとしおです。お客さん同士が交流している姿も見られ、また自分たちも新しい出会いがあったり、前日や早朝からの準備は大変ですが、とてもやりがいがあります。みんなの交流の場づくりとして思った以上に効果を感じています」とやる気い

っぱいの言葉をいただきました。

2種類のメニューは、食材に蜷川地区の特産品や自家栽培のお米や野菜・穀物が各家庭から持ち寄られ、毎回新鮮で蜷川地区ならではのものが提供されています。

今後は、多めに作ったお惣菜をお弁当にして、地域内で希望のあった高齢者へ宅配や直売所などへの出品をしたいと考えているそうです。



であいの里蜷川 モーニング

(毎月第1・3月曜日)
午前8時～11時

次回は **3月15日(月)**です。

場所：であいの里 蜷川
(蜷川小学校校舎)
☎44-2010

佐賀北部地域協議会の 「コンニャクづくり体験」

1月23日、中ノ川地区で昔ながらのコンニャクづくり体験が行われました。

当日は、地元住民や体験申し込みをした町内の方々20人が集会所に集まりました。地元のお母さんたちに習いながら、地元で採れたコンニャク芋を薪釜でふかし、皮を剥いてミキサーにかけて液状にし、石灰を加えて十分に手で混ぜてから、木材で作られた型枠で同じ大きさに切り分け、湯を沸かした大鍋に入れていき

ました。体験後は、出来上がったコンニャクといっしょに、みんなで調理したイヨ飯やチラシ寿司、鈴地区で獲れたてのブリコの刺身などを囲んで交流が図られました。



駅前砂像、今年のテーマは

町内の砂像制作活動グループと大方高校開放講座（砂浜美術館）の受講生らが冬の帰省観光客や地域住民の方々に楽しんでもらおうと毎年実施している駅前砂像づくりが、昨年12月19日から20日にかけて土佐くろしお鉄道入野駅前で行われました。

今年は、同時期に県内で上映された映画「カールじいさんの空飛ぶ家」と、現在、NHK放送中の龍馬伝で全国的にも注目を浴びている「龍馬」をモデルに2体の砂像が制作されました。

設置期間中は、細かい砂像作業を見学したり、いっしょに作業を行う方々や出来上がった砂像の前に記念写真を撮影を楽しむ方々の姿が見られました。



場所・時間が
変わりました!

毎月第2日曜日は

幡多・マーケット「海辺の日曜日」

http://blogs.yahoo.co.jp/hm_umibe

日時：3月14日(日) 9:00～13:00

場所：ネストウエストガーデン土佐
駐車場

ただ今出店者募集中

主催/NPO高知県西部NPO支援ネットワーク



第2回 黒糖まつり

日時:2月21日(日) 10:00～13:00

場所:道の駅ビオスおおがた駐車場内



黒潮町の特産物のひとつ「黒砂糖」でつくった商品が勢揃いします。

さとうきび生搾りジュースや馬荷温泉足湯サービスも!